

研究に関するお知らせ

重症患者における早期静脈栄養併用に関するデータベース研究

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院 救命救急センター救急科では、以下にご説明する研究を行います。

この研究への参加を希望されない場合には、研究不参加とさせていただきますので、下記のお問い合わせ先にお申し出ください。お申し出になられても、いかなる不利益も受けることはありませんのでご安心ください。

■ 研究の背景・目的

集中治療室等に入室する重症患者さんにとって、入院中の栄養療法は重要な治療の一つです。食事が摂れない病状の方では、現在の標準的な治療は経腸栄養と言われる、鼻のチューブ等から栄養剤を投与する方法を優先することが望ましいとされており、静脈栄養（点滴からの栄養剤投与）は経腸栄養が困難な方を除き最小限にとどめることが推奨されています。しかし、急性期に経腸栄養で十分な栄養を提供することは難しく、実際にはしばしば静脈栄養を使用することがあります。

この研究は、どのような患者さんで急性期に静脈栄養が使われやすいかという実態を把握することで、現在の重症患者さんの栄養療法の問題点を明らかにし、将来の治療発展の参考になることを目指しています。

■ 研究期間

2023年3月10日～2026年3月31日

■ 研究の対象となる方

2018年1月1日から2022年10月31日に集中治療室・救命救急センター・HCU いずれかに入院し人工呼吸器管理を受けた成人患者さん。

■ 研究に用いる試料・情報の種類

年齢や性別、BMI、病名、入院中に受けた治療等の情報を、診療録や診療情報データを抽出する形で使用します。生年月日やイニシャルなどの個人を特定しうる情報について用いることはありません。

これらの情報の取り扱いに際しては、政府が定めた倫理指針に則って個人情報厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

■ 研究の同意

研究への参加を希望されない場合には研究不参加とさせていただきますので、お申し出ください。なお、ご病状などからご自身での連絡が難しい方、亡くなられた方等に関して、血縁者などの代諾者の方からの問い合わせや不参加のお申し出にも対応させていただきますので、下記のお問い合わせ先にお申し出ください。

■ 研究計画書等の入手・閲覧方法・手続き等

あなたのご希望により、この研究に参加してくださった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支

障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。ご希望される方は、どうぞ記載のお問合せ先にお申し出ください。

■個人情報の開示に係る手続きについて

本研究で収集させて頂いたご自身の情報を当院の規定に則った形でご覧頂くことも出来ます。ご希望される方は、どうぞ記載のお問合せ先にお申し出ください。

■利益相反について

本研究における利益相反の状態は、国立国際医療研究センター利益相反マネジメント委員会に報告し、審査を受けております。本研究では研究全体あるいは研究者に申告すべき利益相反はありません。

■研究責任者：

国立研究開発法人国立国際医療研究センター 救命救急センター救急科 松田 航

■お問い合わせ先

国立国際医療研究センター病院

住所：東京都新宿区戸山1-21-1

電話番号：03-3202-7181

担当者：救命救急センター救急科 松田 航

■掲示場所・交付場所

救命救急センター外来、救急科ホームページ